

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

・ ノウハウを活かした着実なサービスの提供

長年蓄えてきたノウハウを活用し、1年間問題なく事業を遂行することが出来た。

具体的には、オーダーが重複した場合や非常時に備え、当業務の経験者等により社内の応援体制を確立させ、臨機応変に業務を遂行した。

・ 人材育成の取組

コロナ禍を鑑み、中止になったものもあったが、技術、対応力の向上に向け3件の研修及び2件の講習を適宜実施・受講し、技術・対応力等の向上を行った。

・ 施設の維持管理、補修、修繕等

東京都関係者と密な連絡、調整、連携し、補修・修繕を実施。特に、運搬給水船”すいれん”については都施工（船舶ドック）に合わせ、船体部の塗装や補機関、サイドスラスタの点検整備修繕を実施し、船舶の予防保全に努め、利用者への確実な業務提供につなげた。また、決算見込額を出来る限り早い段階で算出することによって、緊急対応等経費に回すことが出来る費用を算出し、その費用により積極的に施設改修を行うことで安全性・信頼性向上に取り組んだ。



・ 施設の清掃等

安全、安心な清水の提供を実施するため、適切に貯水槽の清掃、水質検査、検査成績表、残留塩素確認等を実施。また、”すいれん”への給水時に使用するゴムホースの交換など、衛生面の向上を図った。

○ 安全性の確保

・ 防災・防犯体制強化に向けた取組

発災時に、迅速かつ適切に対応できるよう緊急時アクションマニュアルを作成し、適宜見直しを実施している。本社及び社内他施設の指定管理部署とも連携し、合同訓練や大規模発災時訓練を実施。発災や想定外の施設故障の際にも適切・確実の業務を遂行できるように備えた。



・ 上級救命技能認定の取得

配置職員全員が認定を受け、緊急時に備えている。

○ 法令等の遵守

- ・ 研修の実施（再掲）
コンプライアンス等研修を実施
- ・ 情報事故防止
ネットワークシステムのクラウド化により情報セキュリティ対策を強化

2 事業効果

○ 事業の取組

- ・ 利用者サービス向上に向けた取組
安心して給水を受けてもらえるよう、直結給水以外の給水を行っている施設(タンク経由、運搬船経由)において、水質検査の情報をHPにて公開
- ・ 365日24時間給水の実践
土、日、祝日及び深夜、早朝の受付電話転送サービスにてオーダー等に随時対応を行った。

○ 利用の状況

- ・ 岸壁給水(セルフ除く) 件数：151件、給水量：15,922m³
- ・ 岸壁給水(セルフ) 給水量：31,617m³
- ・ 運搬給水 件数：172件、給水量：16,100m³

○ 利用者の反応

- ・ アンケートの実施
満足・ほぼ満足が86.7%となり、高い顧客満足度を得ている。
- ・ OJT等の実施
問い合わせ、要望等については、どのスタッフが対応しても同じ回答が出来るよう、引き続きOJTやスタッフミーティングで共通認識を図っている。

○ 行政目的の達成

- ・ ノウハウを活かした着実なサービスの提供（再掲）
長年蓄えてきたノウハウを活用し、1年間問題なく事業を遂行することが出来た。
具体的には、オーダーが重複した場合や非常時に備え、当業務の経験者等により社内の応援体制を確立させ、臨機応変に業務を遂行した。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組
 - ①作業時のマスク、保護メガネの着用（前年度3月より継続実施）
 - ②給水船内等密接する空間の外気による換気
 - ③従事者内での感染防止策の検討により、「3密」対策として時差通勤及び自宅待機の導入実施
 - ④緊急時に備え、社内の応援体制を確立（再掲）

3 収支状況（単位：千円）

項目	金額（税込）
収入 指定管理料	88,998
支出 管理運営費	75,852
収支差	13,146